



国立民族学博物館 友の会ニュース

MINPAKU ASSOCIATES NEWSLETTER

「国立民族学博物館友の会」は「みんなく（国立民族学博物館）」の活動を
支援し、博物館を楽しく、積極的に活用するためにつくられました。

No.266
2021.5-6

発行日 2021 年 5 月 1 日
編集・発行 公益財団法人千里文化財団

音楽の祭日2021 in みんなく

実行委員長インタビュー >>> 福岡正太先生

博物館で音楽を 思いっきり楽しんでほしい。



二〇二二年度の「音楽の祭日 in みんなく」はオンラインで開催することになりました。出演者から募った動画を特設サイトで公開します。

みんなくの「音楽の祭日」は、経験や技量で演者を選ばない、完全な一般募集型の催しです。出演者は公平に抽選をして決めています。交通費や楽器の運搬費用も演者もち。つまり、「みんなくで演奏したい」という出演者の自発的な意思によって、この催しは支えられているのです。

フランス発祥の「音楽の祭典」にならって誕生した「音楽の祭日」は、一年で一番昼の長い夏至の日に、みんなで音楽を楽しむことをモットーとしています。演者と聴衆が集い、一体となつて楽しむことに、この催しの意義があります。しかし、コロナ禍の現在は、催しの核となる、この精神を生かすことが難しい。十数年続けてきたことで、「音楽の祭日」の精神は定着し、参加者にも共有されるようになりました。今年は対面ではないので、直接的な交流はできませんが、いつもの雰囲気を持てきるよう、スタッフみんな考えています。たとえば、例年、みんなくの教員が司会をします。普段のようにして演奏活動に取り組んでいるのか、どのような気持ちで「音楽の祭日」に臨んでいるのかなど、演奏の合間に、司会が演者に質問を投げかけて場づくりをしてきました。今年、スタッフが投稿動画にコメント

トを添えるなどして、例年の雰囲気を持したいと考えています。

オンラインでの開催は、もちろんコロナ禍での改善の策でもあるわけですが、中止した昨年を思えば、参加者同士が時間を共有できる点に意味を見いだしています。なかには、普段、来館することの難しい遠方にお住まいの方もいることで、いつもとはまた違った顔ぶれで「音楽の祭日」を楽しめることも、オンラインの良さだと考えています。

同じ場所で、同じ時間を、大勢で共有できるのが音楽です。一方でジャンルにより、リズムやメロディ、楽器、どこで演奏し、誰と時間をともにするかは違ってきます。「みんなくで一緒に楽しめる」という共通性で「ジャンルによって異なる楽しみ方ができる」という多様性をもつのが音楽の魅力。同じ楽曲でも、時々で感じる印象は異なるでしょう。音楽からは何度でも新しい発見が得られます。

本館展示ではちょうど、音楽展示をリニューアルしました。楽器資料を演奏してみたいという声を聞きますが、他の来館者への影響や資料保存の観点からすれば難しい。しかし、「音楽の祭日」では逆転の発想で、博物館で思いつき音楽を楽しんでもらえればと考えています。展示と催しを一緒に体験していただければ、音楽の多様な側面が見えてくるのではないのでしょうか。（聞き手・事務局）

音楽の祭日
2021
in みんなく

今年で18回目を迎える「音楽の祭日 in みんなく」。2021年はみんなくホームページ内の特設サイトよりご視聴ください。投稿動画の公開期間は2021年6月6日(日)～27日(日)です。

📱 音楽の祭日2021 in みんなく特設サイト 📱 <https://ongaku.s-minpaku.com>



〓 お待たせしました 〓

音楽展示と言語展示がリニューアルオープン！

一部閉鎖をしていた音楽展示、言語展示が3月25日（木）にリニューアルオープンしました。

音楽展示では、音のイメージを視覚的に体感できるプロジェクションマッピングを導入し、河内音頭の360度映像コーナーを新設しました。言語展示では、体験型コンテンツをアップデートするとともに、世界の言語を調べることができる「世界の言語カード」を新設しました。

「音楽の祭日 2021 in みんなく」とあわせて、展示もお楽しみください。



上：言語展示。右手が新設の「世界の言語カード」コーナー
下：音楽展示。プロジェクションマッピングの映像は観覧者の動きにあわせて変化する

友の会講演会 実施報告

■第509回■2021年2月6日(土) ※オンライン配信で開催

セネガル河上流域の変容と「文化週間」

—— 故郷に残った人びとの選択

三島 禎子（民博准教授）

ソニンケ民族は八世紀（四世紀ともいわれる）から一二世紀にかけてサハラ交易で繁栄をきわめ、西欧諸国の進出に際しては故郷からの移動を繰り返しながら遠隔地交易や移民労働などに従事し、二〇世紀末からはアジアとアフリカを結ぶ貿易を展開しています。これまでは移動する人やかれらの海外での生活、故郷の開発への出資などが注目されてきたのに対し、故郷に残った人びとについては移民の経済的貢献に從属的な側面が際立っていました。こうしたなかで、ソニンケ民族

が集住するセネガル河上流域において、一〇年以上にわたって「文化週間」が開催されています。

本講演会では、二〇一七年におこなった映像取材から製作した「みんなく映像民族誌第三四集 セネガルを越える人と地域ラジオ」の映像を交えて紹介しました。「文化週間」は故郷に残っているソニンケ民族が主体となつておこなわれる、国境地帯に共住する他民族の連帯をうたつた行事です。地域ラジオジダがラジオ局の運営経費を捻出するために「文化週間」が始まり、村に残っている移民の妻たちや国内の協力者のもとに実施されています。「文化週間」ではさまざまな民族文化化が歌や踊りを交えた寸劇で披露されます。そこでは行事の進行を司るグリオ（伝統的楽師）たちの活躍も見逃せません。

民族主体でありながら、他民族との連帯をうたいながら、伝統的な文化を表象するこの行事は、かれらのことばを借りれば「文化の力」で政府と交渉しようとする民族の姿です。



セネガル河をはさんでセネガル側からモーリタニアを望む地域にソニンケ民族は古来、住んでいる

■第510回■2021年3月6日(土) ※オンライン配信で開催

災害を後世に伝える

—— 記録・供養・教訓

林 勲男（民博教授）

近年、災害を歴史上の出来事として、被害状況だけでなく復旧・復興のプロセスについても詳細な記録を残すことの重要性とともに、災害を直接体験した人びとの語り継ぎ活動にも注目が集まっています。その背景には、時間の経過とともに進む体験・記憶の風化や希薄化への懸念や、高齢化や少子化に伴う世代間の継承の難しさがあります。



外所地震の追悼供養碑。50年ごとに新しい碑を建てる

阪神・淡路大震災発生から二五年を迎えた二〇二〇年一月、神戸市で「二〇二〇世界災害語り継ぎフォーラム」が開催されました。これは二〇〇六年に設立された世界災害語り継ぎネットワーク（Teer-Net）を核とした実行委員会によるもので、三日間の会議には二〇の国や地域から三〇〇名を超す人びとが集まり、災害語り継ぎ活動に関する研究や情報・意見の交換をおこないました。語り継ぎといっても、ことばによるものだけでなく、歌や演劇、絵画などの創作活動や写真やビデオ映像、記念碑や慰霊碑などの建立やそこでおこなわれる追悼の行事、さらには既存のミュー

ジウムでの展示や、特定の災害をテーマに開館したミュージアムでの展示や関連活動なども含まれます。今回の講演では、定例化された災害語り継ぎの活動の具体例として、宮崎市外所地震（一六六二年）慰霊碑建立、大阪府浪速区の大地震両川口津波記（安政南海地震、一八五四年）の慰霊祭、千葉県白子町の元禄地震（二七〇三年）津波犠牲施餓鬼、群馬県嬬恋村での浅間山天明噴火（二七八三年）にかかわる春の彼岸行事、羽越大水害（二九六七年）を伝えるために二〇年後に始まった新潟県関川村の祭礼などを紹介し、災害語り継ぎの意義と課題について考えてみました。

お問い合わせ、お申し込みはこちら

友の会はいつでも、どなたでもご入会いただけます。
国立民族学博物館友の会
公益財団法人 千里文化財団

〒565-8511
大阪府吹田市千里万博公園10-1（国立民族学博物館3階）
電話：06-6877-8893（平日9:00～17:00）
FAX：06-6878-3716
e-mail：minpakutomo@senri-f.or.jp

国立民族学博物館 最新情報



ホームページ
<https://www.minpaku.ac.jp>



Facebook
<https://www.facebook.com/MINPAKU.official>

国立民族学博物館友の会 最新情報



ホームページ
https://www.senri-f.or.jp/minpaku_associates/



Facebook
<https://www.facebook.com/minpakutomo/>

5月・6月のイベントスケジュール

◆特別展

5/18(火)まで
「復興を支える地域の文化——3.11から10年」

●友の会講演会【要予約】

5/1(土)岡田恵美(★)、6/5(土)三尾稔(＊)

●みんぱくゼミナール【要予約】

5/15(土)小谷竜介、日高真吾(＊)
6/19(土)島村一平(＊)

●みんぱくウィークエンド・サロン

5/23(日)島村一平、5/30(日)森明子

●研究公演【要予約】

5/8(土)「じゃんがら念仏踊りみんぱく公演」(＊)
6/26(土)「伝承する人びと——北インドの古典音楽の世界」(＊)

●シンポジウム【要予約】

5/2(日)「多角的な視点から捉える地域の文化——博物館における研究の可視化・高度化」(＊)

●その他の催し

6/6(日)～6/27(日)音楽の祭日2021 in みんぱく
※みんぱくホームページ内特設サイトで公開
<https://ongaku.s-minpaku.com>

- ◆都合によりスケジュールを変更する場合があります。
- ◆予約の必要な催し、すでに満席になっている催しがございます。また、会場とオンライン配信の併用(＊印)、もしくはオンライン配信のみ(★印)で実施する催しもございます。詳細はみんぱくならびに友の会のホームページをご確認ください。
- ◆イベントの参加には必ず会員証をご持参ください。

みんぱく友の会オンラインレクチャー

研究者によるミニレクチャー動画を友の会のホームページ内で公開中です。

なぜ古代文明の建物は大きいのか ——南米アンデス文明からの視点

話者：関 雄二(民博副館長)

<https://www.senri-f.or.jp/category/events/online/>



ぼくのみんぱく日記

画・中川洋典



友の会講演会のご案内

事前申込先着順です。友の会ホームページ内の受付フォームをご利用ください。

ご参加は下記の会員種別のみなさまが対象です。

維持会員、正会員、家族会員、ミュージアム会員、キャンパスメンバーズ、特別フリーパスをお持ちの方

6月と7月は、会場とオンライン配信いずれかで参加方法をお選びいただけます。

・館内での聴講について

国立民族学博物館 第5セミナー室で開催します(定員40名)。
※当日、メイン会場が満席の場合は中継会場(第3セミナー室/定員17名)にご案内します。

・オンラインでの聴講について

オンラインでのライブ配信もおこなっています(定員100名)。
※著作権の都合で配信をおこなわない月もあります。

第513回 参加方法をお選びください(会場もしくはオンライン)

女神となった疫病 ——インドの天然痘女神信仰

講 師：三尾 稔(民博教授)
日 時：6月5日(土)13:30～14:40(開場13:00)
参加方法：①第5セミナー室での参加
②オンライン(ライブ配信)での参加

罹患率も致死率も高い疫病として1970年代まで猛威をふるった天然痘。年輩の方は予防のため種痘を受けた経験があるはずです。インドではこの病そのものを女神として信仰してきました。天然痘が絶滅した後もさまざまな病の神として広く信仰を集めています。今回の講演会ではこの病の歴史や北部インドの天然痘女神信仰の事例に基づき、伝染病に対応し、災いを乗り越えようとするインドの人びとの知恵や想像力の特徴を考えます。



受付フォーム <https://www.senri-f.or.jp/513tomo/>

第514回 参加方法をお選びください(会場もしくはオンライン)

河西回廊の石窟寺院と美術

講 師：末森 薫(民博助教)
日 時：7月3日(土)13:30～14:40(開場13:00)
参加方法：①第5セミナー室での参加
②オンライン(ライブ配信)での参加

インドで誕生した仏教は、陸路、海路で各地に伝播していきました。北伝仏教が伝わった中国北西部の河西回廊沿いには、像や壁画で荘厳された石窟寺院が数多く残されています。本講演では、南北朝時代に開かれた敦煌莫高窟(とんこうばうこうつ)と天水麦積山石窟(てんすいばくせきざんせうつ)を中心に、石窟寺院の空間やそれを彩る美術より仏教伝播の諸相を探ります。



受付フォーム <https://www.senri-f.or.jp/514tomo/>

友の会会員のサービス内容変更のご案内

■大学生の特別展観覧料が無料に！

入館時に友の会会員証もしくはみんぱくフリーパスとあわせて学生証をご提示いただくと、特別展の観覧料が無料になります。

対象：維持会員、正会員、家族会員、ミュージアム会員、みんぱくフリーパス

※一部の特別展では入館料(特別展の大学生団体料金と本館展示の大学生団体料金の差額)が必要となる場合があります。

■提携館割引の対象にみんぱくフリーパスが仲間入り！

国立国際美術館(大阪)、京都国立近代美術館ではご入館時に、友の会会員証もしくはみんぱくフリーパスをご提示いただくと、入館料が割引になります。
※提携館割引の対象施設はほかにもございます。対象会員種別、対象施設については、友の会ホームページをご参照ください。

本紙掲載の情報は、2021年4月22日時点で決定している内容です。新型コロナウイルス感染症の影響等により、急遽、予定を変更する場合があります。最新情報は、みんぱくならびに友の会のホームページをご確認ください。

みんぱくゼミナール、研究公演 会員先行予約のご案内

みんぱくゼミナールと研究公演には維持会員、正会員、家族会員のみなさまを対象に先行予約がございます。
会員先行予約は該当期間中に事務局までご連絡ください。会員先行予約が定員に達した場合は、一般受付をご利用ください。

下記催しは、会場での聴講のほか、オンライン(ライブ配信)でもご参加いただけます。
催しの詳細、オンライン予約については、みんぱくホームページ内の各催しのご案内をご確認ください。

みんぱくゼミナール

第509回

【特別展「復興を支える地域の文化——3.11から10年」関連】

郷土芸能の持つ力

講師 小谷 竜介(国立文化財機構文化財防災センター文化財防災総括リーダー)
日高 真吾(民博教授)

日時 5月15日(土)13:30～15:00(開場13:00)

参加方法 ①国立民族学博物館 講堂での参加(定員160名)
②オンライン(ライブ配信)での参加(定員300名)

申込期間

■友の会電話先行受付(定員30名)

対象：維持会員、正会員、家族会員
※受付期間は終了しました。

■一般受付

・オンライン予約
期間：5月12日(水)まで
・当日参加受付(会場のみ、定員30名)

第510回

ヒップホップ・モンゴリア

——韻がつむぎ出す現代モンゴル社会

講師 島村 一平(民博准教授)

日時 6月19日(土)13:30～15:00(開場13:00)

参加方法 ①国立民族学博物館 講堂での参加(定員160名)
②オンライン(ライブ配信)での参加(定員300名)

申込期間

■友の会電話先行受付(定員30名)

対象：維持会員、正会員、家族会員
期間：5月10日(月)～14日(金)
※先行予約は会場参加が対象です。

■一般受付

・オンライン予約
期間：5月17日(月)～6月16日(水)
・当日参加受付(会場のみ、定員30名)

第511回

人はなぜ共に歌うのか？

——インド北東部ナガの伝統ポリフォニーの事例から

講師 岡田 恵美(民博准教授)

日時 7月17日(土)13:30～15:00(開場13:00)

参加方法 ①国立民族学博物館 講堂での参加(定員160名)
②オンライン(ライブ配信)での参加(定員300名)

申込期間

■友の会電話先行受付(定員30名)

対象：維持会員、正会員、家族会員
期間：6月14日(月)～18日(金)
※先行予約は会場参加が対象です。

■一般受付

・オンライン予約
期間：6月21日(月)～7月14日(水)
・当日参加受付(会場のみ、定員30名)

研究公演

伝承する人びと

——北インド古典音楽の世界

講師 岡田 恵美(民博准教授)

日時 6月26日(土)13:30～15:50(開場13:00)

参加方法 ①国立民族学博物館 講堂での参加(定員160名)
②オンライン(ライブ配信)での参加(定員300名)

申込期間

■友の会電話先行受付(定員30名)

対象：維持会員、正会員、家族会員
期間：5月10日(月)～14日(金)
※先行予約は会場参加が対象です。

■一般受付

・オンライン予約
期間：5月17日(月)～6月18日(金)
・当日参加受付(会場のみ、定員30名)

みんぱくゼミナールと研究公演の申込方法

■友の会電話先行受付

該当期間中に友の会事務局までお申し込みください。
★申込先着順(会場参加のみ。本人を含む2名までお申し込みいただけます)

【申込先】千里文化財団友の会事務局
06-6877-8893(9時～17時、土日祝を除く)

■みんぱくゼミナールの一般受付

該当期間中に下記いずれかの方法でお申し込みください。
★申込先着順(会場参加は本人を含む2名までお申し込みいただけます)

- ・オンライン予約
みんぱくホームページのイベント予約サイトよりお申し込みください。
- ・メール・電話予約(会場参加のみ)
- ・当日受付(会場参加のみ)
本館2階講堂前にて、当日11時より受け付けます。

■研究公演の一般受付

該当期間中に下記いずれかの方法でお申し込みください。
★申込先着順(会場参加は本人を含む2名までお申し込みいただけます)

- ・オンライン予約
みんぱくホームページのイベント予約サイトよりお申し込みください。
- ・メール・電話予約(会場参加のみ)
- 予約の際に、①「●月●日研究公演」②参加人数 ③氏名(漢字・ふりがな) ④連絡先(固定電話/携帯電話/メールアドレス いずれか) ⑤都道府県(③～⑤は代表者のみ)

【申込先】千里文化財団イベント予約受付

メール yoyaku-event@minpaku.ac.jp
電話 06-6877-8894(9時～16時、土日祝を除く)

※参加無料(研究公演は要展示観覧券、友の会会員は会員証提示)。
会場参加の方には入場整理券を当日11時から本館2階講堂前にて配布します。

館内催しの詳細はこちら！ <https://www.minpaku.ac.jp/event/>



感染予防に ご協力 ください

博物館の感染症対策、それに伴う来館者のみなさまへのお願いをみんぱくホームページのトップページで公開しています。みんぱくでは当面のご来館に際しては、オンラインでの事前予約をおすすめしています。受付フォームもトップページにあります。友の会会員は入館予約が不要です。ご入館の際は1階受付カウンターで会員証をご提示ください。同行者が非会員の場合はオンラインでの入館予約をおすすめください。スムーズにご入館いただけます。また、催しの参加予約をされている方も入館予約は不要です。

